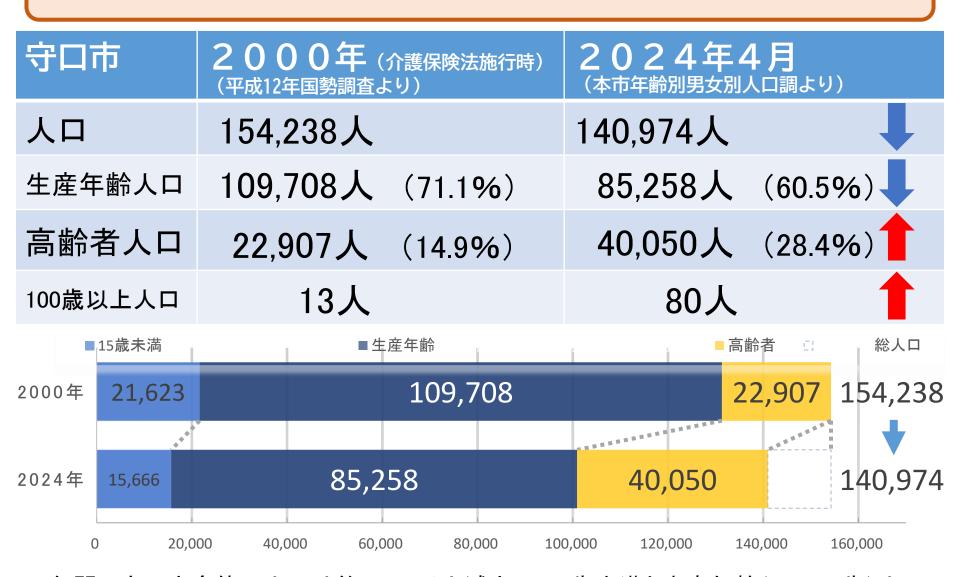
令和7年度の守口市の取組について介護予防と地域づくり

令和7年10月17日 守口市 高齢介護課

### 自立支援・介護予防が必要となる背景

- •少子高齡化
  - ・生産人口の減少
  - 一人暮らし高齢者の増加
    - ・介護人材の不足
    - ・介護離職やビジネスケアラーの増加
- ・介護職も高齢化 → 現在、訪問介護職の4人に1人が65歳以上
- 専門職は要介護度の高い、専門的支援が必要な人の支援を優先

# 介護保険が出来た時と比べた守口市の人口と高齢化率



24年間で守口市全体の人口は約1万3千人減少し、15歳未満と生産年齢(15~64歳)人口は大きく減少しましたが、高齢者人口は1.74倍、高齢化率は1.9倍と大幅に増加しました。

### 地域で支えあう仕組みづくり

- ◆健康で自分でできる状態を保つことが一番大事。
- ◆それでも弱ってしまったら、自分でできた頃の状態を取り戻す通所型サービスCなどの取組があります。
- ◆元気な状態の維持・増進のために地域の活動、支えあいの場の整備に守口市は取組んでいます。



## 生活支援コーディネーターが地域資源を繋げます

1・2圏域(青):第1地域包括支援センター所属

3・4圏域(赤):第3地域包括支援センター所属

5・6圏域(黄):第6地域包括支援センター所属

◎3名で地域の資源を発見・繋げています◎

- ★こんな活動をしたいけど、どこか 場所はあるかな?
- ★ここに集まれる場所があるけど、 今は持て余しているな
- ★スーパーが遠くて困っている
- ★民間企業のサービスをつなげる



## 社会資源情報サイト(Ayamu)で検索できます



「運動」「趣味」「交流」など、さまざまな活動を紹介しています。

二次元コードを読み込むか、「通いの場 守口市」で検索してください。

Ayamu 検索 トップページQR



【URL】 https://chiiki-kaigo.casio.jp/moriguchi

### R7年度~全圏域で開始!元気もりもり教室

守口の6つの地域包括支援センターが、理学療法士 とタッグを組み、新たな介護予防教室を令和7年度 より開始しました

- ノトノスアノトノスアノトノスアノトノスト
- ★元気なうちから、介護予防の意識・行動が大事
- ★口腔・栄養の講座も実施
- ★教室に通わない日をどう過ごすか、がポイント!
- ★教室を卒業した方は、サポーターとして次期受講

者をサポート

この他にも、 様々な教室を 開催しています。



## やる気を引き出す『元気もりもり手帳』・もり吉グッズ



通いの場や介護予防教室等に参加すればスタンプがもらえて、そのスタンプの 数によって景品がもらえます。※詳細はお近くの地域包括支援センターまで

#### 地域の支え合いアイデア交流会

### ★地域の支え合いアイデア交流会

地域のボランティアや、地域づくりに想い のある方が集まり、お互いの活動を発表し 合います。



## ★地域でみつける健康・しあわせ講座

『元気の秘訣を学ぼう!地域でみつける健康・しあわせ講座』

講義とグループワークにより自分が何を できるか、を考える機会に。



# 地域で活躍できる場・活動できる場を拡大中

★地域で活動・活躍できる場★	
友愛もりぐちいきいきクラブ (守口市老人クラブ連合会)	81か所
さんあい広場	6か所
通いの場	216か所
認知症カフェ	12か所
介護予防教室	コミュニティセンター等で随時開催中(広報にて案内)
ボランティア交流会	(随時広報にて案内)
大阪府民カレッジ守口校	
シルバー人材センター	
市民講座•出前講座	(広報にて案内)